

牧師室から (2020. 10. 4)

私はこの町のゴミ収集車が気に入っている。空色の台形の車に乗った赤い愛らしいエビーニャが、『乙女の祈り』を奏でながら朝寝坊をして廻ってくる。音楽が聞こえてくると、つい急いで窓に近づいて見に行ってしまう。清楚で可愛いイメージとゴミのコントラストがたまらない。

そこでふと思ったのだが、車から流れてくる曲が『乙女の祈り』でなく『マタイ受難曲』であったらどうか。ゴミを出すのに、昨晚の飲み過ぎ食べ過ぎを悔い改めつつ、重い気分で朝が始まってしまうであろう。あるいは近現代の調性のよくわからない強烈な不協和音だらけの曲であったら、ゴミを出すのが嫌になるかもしれない。

音楽はやはりTPOが大切だと思った。讃美歌でも、私は個人的にはコーラルや詩篇歌のような曲が礼拝にはふさわしいと思っているが、そうでない優しい情緒的な曲も使用するにふさわしいケースがあると最近実感している。

因みに妻から聞いたのだが、彼女が昔ソウルにいた頃は、ゴミ収集車が『エリーゼのために』を流しながら廻っていたということであった。